

「芸術文化による社会支援助成」活動報告会 第3回

手話能

インクルーシブな新しい能楽のクリエイション

アーツカウンシル東京では、障害者をはじめ、高齢者や子供、外国人といった、さまざまな人々と芸術文化をつなぐ活動や芸術文化を通じて社会課題に向き合う活動を支援する「芸術文化による社会支援助成」を、平成27（2015）年度に開始いたしました。さまざまな社会環境にある人が共に参加し、個性を尊重し合いながら創造性を発揮することのできる芸術活動や、芸術文化の特性を活かし社会や都市の様々な課題に取り組む活動、社会における芸術文化の新たな意義を提起し、あらゆる人に開かれた芸術のあり方を推進する先駆的な活動を支援してきました。



この度、「芸術文化による社会支援助成」活動報告会の第3回では、能楽シテ方喜多流を守り伝えながら、「手話能」という新しい能楽のクリエイションにも取り組んでいる公益財団法人十四世六平太記念財団にご登壇いただきます。前半では、鑑賞サポートとしての同時手話通訳や体感音響システムの導入から開始した「手話」で楽しむ能狂言鑑賞会が、舞台上の手話演技のみで上演する「手話能」を生み出すに至るまでの、回を重ねる中での発見や挑戦について、企画制作と、演者の両方の視点からご紹介いただきます。後半のラウンドテーブルでは、参加者の皆さんも交えて、意見交換や課題を共有し、団体・個人間のネットワークの構築を目指します。

◆ 登壇団体 ◆

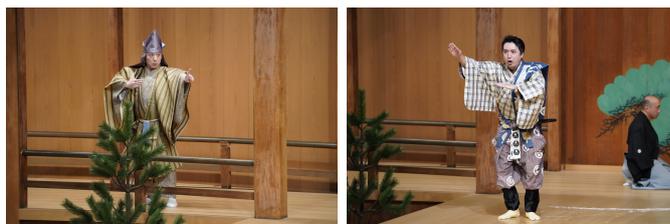
公益財団法人十四世六平太記念財団

登壇者：清水言一、大島輝久、三宅近成

約450年の歴史をもつ能楽シテ方5流のひとつ喜多流の本拠地、喜多能楽堂の管理運営を続けながら喜多流の定期公演をはじめ初心者や子供たち、外国人や障害のある方たちに向けた能楽の普及活動を広く展開している。また2019年には地元自治体の品川区と事業連携協定を締結し地域における文化振興拠点としての役割を担っている。

採択事業：

- ・平成28年度第1期「手話」で楽しむ能狂言鑑賞会
- ・平成29年度第1期「第2回手話」で楽しむ能狂言鑑賞会
- ・平成30年度第1期「第3回手話」で楽しむ能狂言鑑賞会
- ・平成31年度第1期「第4回手話」で楽しむ能狂言鑑賞会
- ・令和3年度第1期「第5回手話」で楽しむ能狂言鑑賞会
- ・令和4年度第1期「第6回手話」で楽しむ能狂言鑑賞会



撮影：前島写真店

日時：2023年2月7日(火) 18:30～21:00

場所：アーツカウンシル東京 5階会議室 東京都千代田区九段北4丁目1-28 九段ファーストプレイス5階

料金：参加無料

定員：40名（事前予約制／先着順）

手話通訳・UDトークによる情報保障あり

ファシリテーター：小川智紀

グラフィックファシリテーター：清水淳子

手話通訳：加藤裕子、瀬戸口裕子

申込方法

QRコードより必要情報をご記入の上、お申込みください。

<https://ws.formzu.net/dist/S839226153/>

申込締切：2023年2月6日（月）12:00

※定員になり次第受付を終了いたします。



主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
問合せ：「芸術文化による社会支援助成」運営担当（合同会社syuz/gen）
E-mail：act_ss@syuzgen.com FAX：03-4333-0878

※本報告会は主催者の広報及び記録目的に写真・音声・動画の収録を行います。記録映像のアーカイブ公開はありません。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の状況により、内容の変更あるいは中止や延期の可能性がございます。

